



m I R a I 通信



～輝く「未来」の中に「伊里」はある～



校内弁論大会 弁士熱弁す



20日6校時、校内弁論大会が行われ、各クラスの代表となった弁士が熱弁を奮いました。

それぞれの思いが詰まった弁論でした。自分の身近な話題、経験から気づいたこと、家族や社会に目を向け始めたもの、そして自分の将来や生き方を追い求める内容など、その学年の特性を感じさせる弁士も多く、成長具合もよくわかる弁論でした。

生徒たちは、採点をしながら聴きました。他の人の考えを聴き、自分の考えと比較していくことは大切なことです。もちろん否定するのではなく、様々な意見と共生していこうとする気持ちでいなければなりません。

司会進行を務めてくれた各クラス2名の実行委員のみなさん、ありがとうございました。

組	氏名	論題
1A	松本 倅葉	夢を実現させるために
1B	南 寛太郎	ありがとうを伝える
2A	川淵 琴実	命のありがたさ
2B	吉信 琉唯	ボランティアに参加して
3A	豊福友里華	スタートの合図
3B	鷹取 凧紗	新しい自分に出会えた日

野に咲く花のように



「野に咲く花のように 風に吹かれて 野に咲く花のように 人を爽やかにして…」という歌がありますね。

学校内の道路側のフェンス沿いに、たった一輪咲いている青い花を発見。野草の中にポツンと咲く一輪に名もなき花…何てけなげではかなげな、と思った次の瞬間、「こ、これは名もなき花どころか、メジャーすぎる朝顔ではないか!」と気づきました。

朝顔といえば、夏休みの理科の観察の代名詞とも言える花です。かく言う私も小学校2年生くらいで、観察やりました。正直

に言えば、母親がほとんどやりました(苦笑)。まあ許してください小学校低学年ですから…と言う話ではなく、夏の代名詞のような花が、10月も中旬を越えて咲いている…大丈夫かニッポン?大丈夫か二十四節気?大丈夫か七十二候?朝顔は朝顔で、とても爽やかでキレイな花ですが、やはり「咲き頃」と言いますか「旬」と言いますか、その花らしい時期に咲き誇ってもらいたい、と思うのは人間のワガママなんですよね。朝顔はそんなことは関係なく、一生懸命に咲ける時期に咲いているだけなのですから。



さすがのエッセイリスト登場！！



雨にも負けず
 風にも負けず
 の寒風や夏の日差しにはめっぽう弱くなり
 丈夫だったからだも老化が激しく
 一緒に部活をすれば靱帯切って翌年小指骨折
 決して怒らず
 職員室ではわりとボーッとしている
 一日に三食と少しのお菓子を食べ
 給食の栄養価にも助けられ体重は右肩上がり

転職しても転職しても仕事は早くならず
 いつの間にか（SECOMの）セッターの地位を確立
 行事のたびに担任のない淋しさをかみしめ
 自主学习ノートのチェックで一喜一憂する
 みんなにノロマと呼ばれ
 褒められもせず
 苦にもされず
 そういう生活を
 わたしは今送っている



子どものころから、作文が嫌いだった。ネタに悩み、書き出しに悩み、いつのまにか周りの子は書き上げていて、残りは宿題に…。ゆえに、大学も入試に小論文のないところを選んだ。こんな私が「書くこと」を教えているのだから、ちょっと笑ってしまう。

「書くこと」とは、自分を振り返り、頭（心）の中を整理して、言葉で自分を表現すること。この表現する力は、これからますます社会の中で求められてくる（最近では高校入試でも！）。しかし、「今日の授業は作文だよ！」と言うと、だいたい「えー」「やだー」とブーイングの嵐となる…。そこで、この場を借りて「作文上達講座（初級編）」

<その1> たくさん（度々）書く

たまにしか書かないから、特別なこと＝負担になってしまう。まずは書き慣れることが大事。

<その2> よい文章にふれる。まねをする。型やパターンを知る。

語彙や表現のバリエーションを増やすことも大切。いろんな文章を読むことも力になる。たまには写したり一部を取り入れてみたりする。上の詩？も、言わずと知れた宮沢賢治の「雨ニモ負ケズ」のパロディ！

<その3> 書いたものをオープンにする。交流する。

書いたら人に見てもらうのが効果的。伝わったかどうかわかるし、コメントやアドバイスをもらえればラッキー。ほめられたら、意欲もアップ♪

お手軽なのは、「やりとり帳」の活用。ひとこと日記を毎日行があるだけ書いてみよう。あとは「新聞のコラム」の活用。読むだけでもよし、視写もよし、要約やそれについて自分の意見を書くのはもっとよし。自主学习にもオススメ！

私も国語科として、伊里中生徒の書く力の向上を目指してガンバリマス！



うまいっ！さすがっ！！ですね。何も言う（書く）ことはありません。國定先生の、ウイットに富んだ、センスの良い文章に浸ってくださいませ。西に困っている生徒あれば駆けつけ声を掛け、東に泣いている生徒があればよしよし、北に悩んでいる教員があれば道を指し示し、南に困難な仕事があれば即座に引き受けに行き、という國定先生ならではの文章でした。

ご本人も書かれているように、まさしく「朝早くから夜遅くまで熱心に」という表現を絵に描いたら國定先生になる、と言われるくらい仕事にいていねいに誠実に取り組まれています。もう頭が下がりがすぎて地中にめりこんでしまいます。伊里中学校のスーパースター☆です。決して「しっぱいしたあ〜」ではありません、それは私です。「失敗したあ〜！」

【言葉の教室】

（SECOM）のセッター＝伊里中学校はセコムと契約し管理しています。その日最後に職員室を出る先生は、そのセットをしなければなりません、その人を「セッター」と呼びます。